

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【公表番号】特表2013-524825(P2013-524825A)  
 【公表日】平成25年6月20日 (2013.6.20)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-032  
 【出願番号】特願2013-506612(P2013-506612)  
 【国際特許分類】

C 1 2 N 5/071 (2010.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 2 0 2 A

C 1 2 P 21/08

C 1 2 P 21/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月15日 (2014.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

約 10 対 1 と約 1 対 1 の間のナトリウムイオン対カリウムイオンのモル比によって特徴付けられる、哺乳動物細胞を増殖するための無血清細胞培養培地。

【請求項 2】

無タンパク質培地である、請求項 1 に記載の細胞培養培地。

【請求項 3】

ナトリウムイオン対カリウムイオンのモル比が約 8 対 1 と約 6 対 1 の間である、請求項 1 又は 2 に記載の細胞培養培地。

【請求項 4】

ナトリウムイオンの濃度が約 50 mM と約 90 mM の間である、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の細胞培養培地。

【請求項 5】

カリウムイオンの濃度が約 8 mM と約 12 mM の間である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の細胞培養培地。

【請求項 6】

全アミノ酸濃度が約 40 mM と約 100 mM の間である、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の細胞培養培地。

【請求項 7】

全アミノ酸濃度に対する全イオン濃度のモル比が約 1.9 と約 4 の間である、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の細胞培養培地。

【請求項 8】

組換えポリペプチドを産生するための方法であって、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の培地中で哺乳動物細胞を培養すること、および組換えポリペプチドを発現させることを含む方法。

【請求項 9】

培養条件が少なくとも１つの温度変動および／または少なくとも１つのpH変動を含む、請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

培養をフェドバッチプロセスによって行う、請求項8または9に記載の方法。

【請求項 11】

産生されるポリペプチドがグリコシル化されたものである、請求項8から10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

ポリペプチドが抗体または抗体断片である、請求項8から11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

哺乳動物細胞がCHO細胞、HEK細胞およびSP2/0細胞からなる群から選択される、請求項8から12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

異なる成分を互いに混合する、請求項1に記載の細胞培養培地を作製するための方法。

【請求項 15】

約7mMと約15mMの間の濃度で塩化ナトリウムが添加される、請求項14に記載の方法。

【請求項 16】

約8mMと約12mMの間の濃度で塩化カリウムが添加される、請求項14または15に記載の方法。